

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月				
決算額	286,105 円		助成金充当額	150,000 円	
事業対象者	全校区民		参加人数	14自治会	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 防災・減災に取り組む人材育成の推進 ・ 防災資機材や避難所における感染症対策に係る物品等の整備 ・ 令和2年9/6台風10号に係る緊急避難場所(厚南小学校)開設への協力及び開設マニュアル作成支援 ・ 洪水ハザードマップの厚南校区自治会区域入りマップの作成 ・ 厚南力講座における上記マップを活用した支え合いマップづくりへの参加				
事業目標	・ 年1回の校区自主防災訓練の実施 ⇒ 未実施 ・ 防災・減災に関する視察研修の実施 ⇒ 未実施 ・ 防災資機材の充実 ・ 厚南小学校緊急避難場所開設マニュアル作成支援 ・ 洪水ハザードマップの厚南校区自治会区域入りマップの作成 ・ 自治会単位の防災体制整備に向けた手引書の作成 ⇒ 未実施				
	数値目標		令和2年目標	令和2年実績	
	・ 校区防災訓練参加人員 ・ 自治会区域入りハザードマップ作成 ・ 自治会単位の避難行動計画等の作成		・ 100人 ・ 14自治会 ・ 2自治会	・ 未実施 ・ 14自治会 ・ 未実施	
(達成できなかった要因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、3密を避ける観点から集会や協議の場を持つことが困難な時期が続いたため。					
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・ 自治会単位の防災活動の促進 ・ 防災を切り口にした「支え合い」の関係づくり ・ 市行政、市社会福祉協議会、校区内福祉関係団体、NPO、県立大学など多様な主体との連携				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・ 大規模災害が頻発する今日にあって、災害からの逃げ遅れゼロに向けた取組みが不可欠であり、校区単位での取組みと自治会単位での取組みを明確化しながら進めていくことが必要。 ・ 緊急避難場所等の開設や運営をより円滑化するための自主防災会の役割等の再整備。 ・ 上記活動を担う人材の育成。				
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

厚南校区コミュニティ推進協議会

事業名	2	健康づくり事業	
事業期間	令和2年11月～令和3年3月		
決算額	25,998 円	助成金充当額	25,998 円
事業対象者	全校区民	参加人数	健康料理教室16人 フレイル予防講座30人(予定)
事業内容	<p>(どのような事業を、どのように行ったか)</p> <p>健康料理教室：調理実習はコロナの状況により困難であったため、講座形式で実施。高血圧に着目し、日ごろの生活習慣を見直すとともに、栄養士・保健師による講話を通して正しい知識の習得をした。</p> <p>ウォーキングイベント：コロナ禍による健康二次被害が懸念されたため、家で体を動かすコツについて学ぶ方法に変更した。</p> <p>YICリハビリテーション大学の先生による講義と実践を通して、健康的な体づくり事業「フレイル予防講座」を企画。令和3年3月2日に開催。</p>		
事業目標	<ul style="list-style-type: none">・普段の食生活について振り返り、健康課題に気づくことができる。・食と健康について正しい知識と技術を学ぶことができる。・学んだ内容を、日々の生活で実践することができる。		
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績
	料理教室、ウォーキング教室参加人数	料理教室：各回30人 (2回実施) ウォーキング教室：各回30人 (3回実施)	料理教室：16人 ウォーキング：30人(予定)
事業効果	<p>(達成できた、又は、できなかった要因)</p> <p>今年度はコロナの影響もあり、施設の利用中止や会議の中止等があり、企画・実施が困難であった。コロナ禍でもできる形を変えた方法を検討し調整するために時間を要し、今年度は各企画1回のみで開催となったため。</p> <p>(事業の実施により、どのような効果が得られたか)</p> <p>料理教室：日々の食生活を見直すきっかけとなったとともに、高血圧予防のための食生活の理解を深めることができた。家で実践できるレシピの提供、ヘルシー弁当を体験してもらうことで、生活習慣予防のための健康行動を実践することができる。</p> <p>フレイル予防講座：フレイルに関する正しい知識の定着と、フレイル予防のための運動の実践することができる。</p>		
今後の課題等	<p>(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など)</p> <p>厚南地区は高血圧、脂質異常症、糖尿病など生活習慣に関連した、疾病を抱えている人が多い傾向にある。また、コロナ禍での外出頻度の低下からフレイル(心と体の虚弱)が懸念される状況は続いている。家で実践できる健康的な生活習慣に関する正しい知識と技術の定着は今後も必要である。今年度はコロナの状況から実施に至るまで時間を要したが、来年度は今年度の実践を踏まえて実施していきたい。</p>		
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	①	2 3
	助成金を有効に活用できましたか	1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	② 3
	今後も事業継続できますか	①	2 3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 宇部市立厚南小学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	27,000 円		助成金充当額	27,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	500人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・学校運営協議会を4回開催した。 ・地区民による授業参観を2回行った。 ・防災訓練やしめ縄作りやどんど焼きは中止になったが、厚南校区放課後子ども教室には、児童が積極的に参加した。			
事業目標	・学校運営協議会を4回開催した。 ・地区民による授業参観を2回行った。 ・厚南校区放課後子ども教室に、児童が積極的に参加した。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	授業参観者数	1000人	200人	
	(達成できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染症対策のため、様々な地域の行事が中止になったことと、不特定多数の地域の方やお年寄りを学校に呼ばないようにしたため、数値目標は達成できなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・地域の方に授業参観をしていただき、地域の方の学校に対する理解を深めることができた。また、様々な助言を頂き、授業改善や学校運営に生かすことができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・この事業を通して地域行事に児童・生徒の参画を推進していくことで、小・中学校の連携が強化されると考える。 ・今度も感染症予防が必要があるため、新しい生活様式の中での地域との交流の仕方を工夫していく必要がある。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 宇部市立厚南中学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	14,500 円		助成金充当額	14,500 円
事業対象者	保護者、学校運営協議会委員 生徒、地域住民		参加人数	1000人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ○校内環境整備活動 ○学校運営協議会の開催 ○運動会、文化祭、人権教育参観日、意見発表会、立志式などの学校行事参観 ○なんぼカフェ(PTA主催情報交換広場)への協力			
事業目標	○各事業への保護者、各委員、地域住民、生徒への参加			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	各事業総計参加数	1500人	982人	
	(達成できなかった要因) ・コロナ感染防止のため、行事の中止(環境整備活動)や規模の縮小及び参加制限を行ったため。 特に、地域住民の参加について、制限をかけたため。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・感染防止で縮小した事業であったが多くの参加者があり、この状況下には、多くの活動を実施できた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域支援活動の面で、今年度活動できていない。コロナ感染状況によるが、積極的に地域支援活動を展開し、地域の活性化に努めたい。また、小中の連携を深めるため、児童・生徒の共同活動を計画したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

社会福祉協議会

事業名	4	地域福祉事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	5,138,560円	助成金充当額	582,000円	
事業対象者	全校区民	参加人数	293人	
事業内容	<p>(どのような事業を、どのように行ったか)</p> <p>○高齢者福祉事業への支援 敬老会及び高齢者ふれあい事業への助成を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で集まっていたの事業が実施できなかった。ただし、記念品の進呈は実施した。</p> <p>○児童福祉の充実 子ども居場所づくりへの助成。事業新設の周知は地区の「会館だより」で実施。</p> <p>○健康づくりふれあい事業の実施 厚南ポッチャサロンを地域の福祉施設の協力を得て実施。新型コロナウイルスの影響で当初予定の回数はできなかったが、4回開催し、76人の参加者を得た。開催案内は地区の「会館だより」を通じて実施。</p> <p>○地域福祉推進に資する研修会等の実施 ・福祉委員 定例会を活用して市社協より講師を招いて研修会を3回開催。 ・令和3年2月14日に福祉教室をWEB会議方式を使用してサテライト会場も設けて開催。</p>			
事業目標	○高齢者福祉の推進 ○児童福祉の推進 ○保健事業の推進 ○地域コミュニティづくりの推進			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・敬老会参加人数	700人	0人(記念品進呈)	
	・福祉教室参加人数	80人	67人	
・福祉委員研修会参加人数	延べ40人	延べ150人		
・厚南ポッチャサロン参加人数	延べ240人	延べ76人		
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染予防対策として集まっていたの形式での事業が開催できなかった。			
事業効果	<p>(事業の実施により、どのような効果が得られたか)</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策で事業が十分にできず期待した効果を得ることはできなかったが、ポッチャサロンや福祉委員研修会の実施により地域の課題解決・魅力創設などにつながっていく一歩にはなったと考える。</p>			
今後の課題等	<p>(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など)</p> <p>事業の継続実施と事業の地域への周知、及び地域課題・魅力創設につながる活動により一層発展させていくことが課題と考える。</p>			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	①	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか	①	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	5	地域づくり事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	329,851 円	助成金充当額	300,000 円	
事業対象者	全校区民	参加人数	204人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・まちづくりサークル ・校区だより「厚南会館だより」作成			
事業目標	地域行事の実施			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	ふるさとまつり	2,000人	未実施	
	厚南ゆめ広場	500人	未実施	
まちづくりサークル	300人	204人		
	(達成できた、又は、できなかった要因) 新型コロナウイルス感染予防対策のため、主な行事は開催できなかった。 まちづくりサークルは4回開催した。 校区だより「厚南会館だより」毎月発行			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、ふるさとまつり・厚南ゆめ広場は開催することができなかったが、まちづくりサークルを4回開催した。各自治会・福祉関係団体の方と支え合いマップ作りや自治会単位でのハザードマップ作り等の研修を行い、地域内の改善意識が強化された。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・地域コミュニティ団体メンバーが高齢化しているため、活力のある人材づくり ・地域の伝承・文化の継承 ・全ての住民が参加できるふれあいの場を広げたい			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

子ども会育成連絡協議会

事業名	6	健全育成事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	424,657 円		助成金充当額	67,500 円
事業対象者	全校区児童		参加人数	0人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・広報誌の発行			
事業目標	・校区の子どもたちの仲間作り及び校区の諸団体との連携を図る ・子ども会への助言等を通じて、青少年の健全育成に寄与する			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	球技大会参加人数	150人	未実施	
	大キャンプ参加人数	70人	未実施	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナウィルス感染症対策のため、開催できなかった。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・校区の子ども会員の思い出を広報誌として作成し配布した。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・コロナウィルス終息後、みんなで集まって楽しめるイベントを多く開催したい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会

事業名	7	環境対策事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	578,646 円		助成金充当額	50,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	662人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・中川清掃・中川河口ヨシ原清掃活動 ・空き缶拾い(年2回) ・研修会			
事業目標	中川清掃の実施 空き缶拾いの実施 研修会の実施			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・中川清掃・河口ヨシ原清掃参加人数	200人	134人	
	・空き缶拾い参加人数	800人	502人	
	・研修会参加人数	40人	26人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ渦で人数の縮小等ありましたが、各自治会・各団体等の協力を得ながら事業が行えた			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・コロナウィルス感染症対策のため、視察研修は行えなかったが、支部内研修会を開催し、ごみ減量化や資源再利用など環境づくりに取り組んだ。 ・各事業に多くの方が参加してもらい、地域がきれいになり、また日頃交流のない方とのつながりができた。			
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・SDGs・脱炭素社会の実現 ・一人一人が考えて行動する環境部			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか			1 2 (3)
	助成金を有効に活用できましたか			1 (2) 3
	多くの住民の参加が得られましたか			1 (2) 3
	今後も事業継続できますか			1 2 (3)

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

コミュニティ推進協議会

事業名	8	コロナウィルス感染対策事業			
事業期間	令和2年11月～令和3年3月				
決算額	335,040 円		助成金充当額	241,902 円	
事業対象者	全校区民		参加人数	0	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・コロナウィルス等感染予防対策備品購入				
事業目標	会議・講演会等、参加者に安心して参加してもらえるように、コロナウィルス等感染対策のため、空気清浄機を設置したい				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	空気清浄機	5 台	5 台		
	(達成できた、又は、できなかった要因) 年度末に購入したため、令和3年度より使用していく				
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・会場に設置することによって、コロナウィルス感染対策が強化され、参加者が安心な環境で参加できる。				
今後の課題等	(事業の必要性、継続していくための課題や改善点など) ・各部屋に設置したい				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	3
	今後も事業継続できますか		1	2	3